

令和4年度

放課後等デイサービス事業

事業所評価報告書

(自己評価)

令4年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか			○	新規事業所の運営によって、人員が少なくなったため、ハローワークや保育士ワーカーなどの活用を行い、人員の確保を行っていきたい。
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		車椅子やバギーが通れるようにスペースがなされていたり手すりなど過ごしやすいようにしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		急な職員の異動等によって、サイクルが機能しにくい状況にあるため、今後、人員の確保を行い、実施していきたい。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査の実施は行っているが、ご意見に対して利用人数の増加希望等については、新規事業所の開設等に対応はしているが、希望者も多く満足に至らない状況にある。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページでの公開を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者委員会はあるが、外部評価を受けてはいない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		職員が講師を務めた研修などをYOUTUBEでいつでも閲覧できるような工夫を行っている。令和4年度は、外部の研修への参加があまりできていない。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要な場合には発達検査の実施を医療機関や嶺南教育事務所等に依頼し、その結果を参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		日課表については、固定の担当者が作成を行っている状況にある。活動内容の充実を今後全体で考えていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか		○		利用児童のしたい活動の気持ちを聞き取り、活動の中に取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

適切な支援の提供	15	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	ミーティングの実施は行っているが、翌日に行うなど、業務時間内での終了を目指して実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか			○	求めに応じて実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	自事業所がセンターであるため、必要に応じて医師や関係機関と連携し、助言等を頂きながら事業運営を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	利用者の中に通常学級に通う子どもや、利用していることを隠したいご家族もいるため、交流の機会は持っていない状況である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	個別支援計画作成時等の面談や送迎やお迎えの際に行っているが、毎日の利用ではないため、常日頃は実施できていない。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定や重要事項説明書、契約書、利用者負担等の変更がある場合には、その通知を全保護者に行い、同意を得ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			希望者については、随時相談を受け支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等がないため、全保護者同士の連携に対して支援は実施できていない。また、今後も保護者会の設立の予定はない様子である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書にて苦情解決の窓口等の説明は行っている。実際に苦情としての申し出はない状況である。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	長期休暇等における行事の予定等は、アンケートにて参加希望を行うなど周知はしている。定期的な会報は発行していない。
	35	個人情報に十分注意しているか			○	事務所内への面談予定の掲示やロッカー、下足箱の名前の提示等は支援として行っている状況である。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各種マニュアルを職員に周知はしているが、保護者へは実施していない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	年2回の避難訓練の実施は行っている。定期的な実施は行えていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	チャイルドシート等の身体拘束に関して個別支援計画への記載はしていない状況である。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの作成、回覧、状況の報告を行っている。